

施設から発生するエネルギーの活用

ごみを燃やす時には膨大な熱エネルギーが発生します。これを有効に活用することは、化石燃料を減らし地球温暖化の防止にもつながります。

新ごみ処理施設で発生する熱エネルギーの有効活用については、今後建設地の周辺地域とも相談し、実現可能な内容を検討していく予定です。

エネルギーの有効活用の例

温浴



発電



健康増進
プール



環境衛生センターのエネルギー利用

現在、環境衛生センターでごみを燃やす時に発生する熱エネルギーは、隣接する「金城の里」の温泉水を温めるために活用しています。「金城の里」では、35℃の温泉が湧出しており、市民や観光客など年間約6万人の利用があります。

また、ごみを燃やす時の熱を利用して蒸気タービンで発電機を回し、施設内の電力をつくっています。1日の発電量は21,600kw/hで、これは一般家庭の約1,170世帯分に相当する電力となっています。

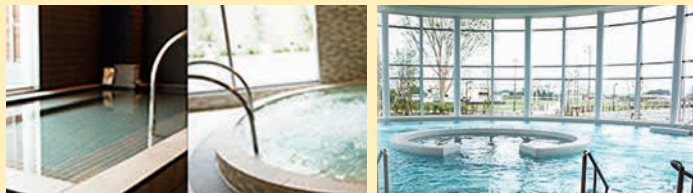


温泉施設「金城の里」〔島新田〕

先進施設の視察 パート1

ふじみ野市・三芳町環境センター〔埼玉県ふじみ野市、三芳町〕

埼玉県の「ふじみ野市・三芳町環境センター」は、可燃ごみと不燃ごみの処理施設のほか、体験型の学習を行う「環境学習館えこらぼ」や不用になったタンスや自転車などを修理して販売する「リサイクル工房」を備えています。



また、ごみ処理施設の隣には、ごみ焼却時の熱エネルギーを利用した「ふじみ野市立 エコパ」が整備されています。エコパでは、「ふれあい・交流・健康」をテーマに、ローマ風呂や和風風呂などの温浴施設や健康増進プール、地元の野菜を使ったメニューを提供するレストランなどがあり、1日に約700人の利用があります。



先進地視察の参加者を募集します

ごみ処理施設の理解と関心を深めていただくため、先進地を視察します。市民を対象に参加者を募集します。

日時 塩沢地域 11月18日(水)、六日町地域 11月19日(木)、大和地域 11月20日(金)

9:00~17:00 (予定)

※市のバスを運行します。集合場所・出発の時間などの詳細は、後日参加者に連絡します

視察場所 上越市クリーンセンター、上越リゾートセンターくるみ家族園〔上越市大字中島〕

申込み 新ごみ処理施設整備室に電話でお申し込みください (☎782-0263)

募集期間 10月5日(月)~30日(金)

8:30~17:15 ※土・日曜日を除く

定員 各地域で20人(先着順)

◆次回は、現在のごみ処理の流れや、資源化・減量化の取り組みなどを紹介します。